

令和 6 年度
西川町教育委員会事務事業点検・評価報告書

令和 7 年 9 月

西川町教育委員会

令和6年度 西川町教育委員会事務事業点検・評価報告書

1	教育委員会事務事業点検・評価	1
2	教育委員会の活動状況	
(1)	教育委員会委員	2
(2)	教育委員会の活動	2
3	教育委員会の活動状況に対する教育事務評価委員の意見	4
4	事務事業点検・評価シート	
(1)	西川町教育ローン「帰ってきてけローン」返済補助金	5
(2)	ブナの森自然学校事業	7
(3)	カヌー・スキー教室事業	9
(4)	総合型地域スポーツクラブ事業（スポーツサポート西川）	11
(5)	西川町文化祭	13
(6)	西川町高校生ソーシャルイノベーションコンテスト	15
6	教育事務評価委員の意見（総括）	17

1 教育委員会事務事業の点検・評価

◇はじめに

西川町教育委員会では、平成 28 年 3 月に策定した教育大綱で、「自立」「協働」「創造」を基軸とした生涯学習社会の構築を目指す。」を教育目標に掲げ、「社会を生き抜く力の養成」「未来への飛躍を実現する人材の育成」「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」「自然と文化を生かした心豊かな人づくり」を 4 つの基本的方向を柱に定めました。

また、令和 6 年 3 月には、令和 13 年度までの 8 年を対象期間とする西川町教育振興基本計画を改定、「ふるさとへの愛と誇りを持ち、未来を拓く人づくり」という基本目標の具現化に向け、「西川町の自然と文化」と「デジタル技術の良さ」の融合を柱に、5 つの基本方針と 20 の重点施策を体系化し、各種事業を展開してきました。

この度、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、令和 6 年度に実施した事務事業について点検評価を行い、効率的な教育行政の推進及び町民に説明責任を果たすため、西川町教育事務評価委員の皆様からの意見をいただき、その結果を報告書としてまとめました。

◇点検評価の方法

(1)教育委員会事務局職員による内部評価

西川町教育振興基本計画施策展開体系図に基づき、5 つの基本方針と 20 の重点施策毎に、令和 6 年度に実施した事業内容、その成果と課題、今後の方針について、内部点検評価を実施した。

(2)西川町教育事務評価委員からの意見

客観性を確保するため、西川町教育事務評価委員（外部評価委員）に内部評価の説明を行った後に、事業内容や今後の方向性等についてご意見をいただいた。

(3)報告書作成

教育事務評価委員からの意見も入れ込んだ事務事業点検報告書を作成

(4)西川町教育委員会での審議

事務事業点検報告書について町教育委員会で審議

(5)公表

町議会への報告及び町民への公表

◇西川町教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
阿部 恵子	西川町スポーツ推進委員
西谷 輝彦	前小学校教諭
奥山 貴大	西川小学校 P T A 会長

◇西川町教育事務評価委員会の開催内容

第1回目：令和7年6月30日 内部評価した内容について説明を行った。

第2回目：令和7年7月16日 意見をいただいた。

2 教育委員会の活動状況

(1)教育委員会委員

職名	委員名	就任期間
教 育 長	前田 雅孝	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日
教育委員	阿部 仁	令和 2 年 10 月 1 日 ～ 令和 10 年 9 月 30 日
教育委員	近松 和朗	平成 24 年 3 月 15 日 ～ 令和 9 年 9 月 30 日
教育委員	大泉 奈緒子	平成 29 年 10 月 1 日 ～ 令和 7 年 9 月 30 日
教育委員	高橋 美保	令和 4 年 12 月 23 日 ～ 令和 8 年 12 月 22 日

令和7年3月31日現在

(2)教育委員会の活動

①会議の開催

開催日	種別	議事・協議事項
4 月 23 日	定例	議第 1 号 令和6年度西川町学校教育センター職員の任命について 議第 2 号 西川町スポーツ推進委員の委嘱について 議第 3 号 西村山地区教科用図書採択協議会委員の指名について 議第 4 号 西村山地区教科用図書採択協議会委員の委嘱について その他、西川町立小中学校における医療的ケアに係るガイドライン等について協議
5 月 27 日	定例	議第 5 号 西川町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について 議第 6 号 西川町教育支援委員会委員の委嘱について 議第 7 号 西川町文化財調査委員会委員の委嘱について 議第 8 号 西川町公民館職員の任命について 議第 9 号 西川町公民館運営審議会委員の委嘱について 議第 10 号 にしかわ地域・学校パートナー会議委員（西川町地域学校協働活動運営委員会）の委嘱について 議第 11 号 西川町育英奨学資金貸与者の決定について 議第 12 号 西川町社会教育委員の委嘱について その他、西村山市町教育委員会連絡協議会 令和6・7年度の理事の選出等について協議
6 月 19 日	定例	議事なし その他、児童生徒の学力の現状等懸案事項について協議

開催日	種別	議事・協議事項
7月25日	定例	議第13号 令和7年度使用小学校教科用図書及び令和7年度から令和10年度使用中学校教科用図書及びの採択について 議第14号 令和5年度西川町教育委員会事務事業点検・評価の報告について
8月20日	定例	議事なし その他、子ども教室における熱中症事案の反省と今後の対応等懸案事項について協議
9月25日	定例	議第15号 令和6年10月1日付け西川町教育委員会所属職員の人事異動について
10月1日	臨時	西川中学校生徒事故報告
10月22日	定例	議事なし その他、西川中学校事案の対応等懸案事項について協議
11月21日	定例	議第16号 西川町社会体育施設条例の一部を改正する条例の制定について 議第17号 西川町教育委員会事務局規則の一部を改正する規則の制定について 議第18号 西川町子ども芸術文化活動表彰要綱の設定について
12月18日	定例	議第19号 令和6年度西川町立小中学校の要保護・準要保護児童生徒の認定について その他、西川町奨学資金の見直しについて等協議
1月21日	定例	議第20号 令和7年度西川町立西川小学校及び西川町立西川中学校の入学予定者について 議第21号 西川町育英奨学資金貸与条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
2月18日	定例	議第22号 令和7年度西川町立小学校就学予定児童の準要保護の認定について その他、他校から西川町立学校への短期（聴講生）受入れ等について協議
3月6日	臨時	議第23号 令和7年度西川町立小中学校職員の人事異動内申について 議第24号 令和7年度西川町一般会計予算(案)(教育費)について
3月25日	定例	議第25号 令和7年度西川町立小中学校の要保護・準要保護児童生徒の認定について 議第26号 令和7年度西川町立小中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について 議第27号 令和7年度西川町教育委員会所属職員の人事異動について

③ 学校訪問

実施日	内 容	場 所
6 月 19 日	学校経営概要説明・授業参観・教職員との懇談	西川小学校
5 月 27 日	〃	西川中学校

④その他(行事・研修等)

実施日	内 容	場 所
4 月 1 日	教職員辞令伝達式	西川町役場
7 月 4 日	西村山市町教育委員会連絡協議会総会・研修会	寒河江市
5 月 12 日	東北 6 県市町村教育委員会連合会研修会	山形市
8 月 2 日	山形県市町村教育委員会大会	天童市
8 月 14 日	二十歳を祝う会	西川交流センター
12 月 13 日	教育委員・校長教頭合同研修会	西川交流センター
2 月 22 日	町総合表彰式	西川交流センター
3 月 31 日	退職教職員感謝状贈呈式	西川交流センター

教育委員会の活動状況に対する教育事務評価委員の評価・意見

- ・会議の開催についてですが、議事に「なし」とあるが協議内容等、詳細を表記していただくと第三者にも理解しやすいのではないかとと思われる。
- ・子ども達のため、町民のために多方面における会議が滞りなく進んでいる様子が伺えた。学校訪問での教職員との対話や子どもの声を通し、知り得た情報をもとに、より良い教育環境につなげていただきたい。
- ・教育委員会は様々な活動について日々ご努力を続けられていると感じている。今後も、西川町の子どもの成長のため、より良い教育環境を整えて下さることをお願いしたい。
- ・時代の変化が加速的に進歩する中で今までの取り組みから、これからの取り組みを企画・運営する中で日ごろのご苦勞に感謝申し上げる。考え学ぶ力や人間の脳での思考が AI に変わる時代が目の前まで来ている中で、人間本来の自ら学び思考を巡らせ、感じながら喜びを育む事は更に大切になってくると思われるため、これからの教育や学習・体験が西川の特徴を活かし更に人口減少には負けないオンリーワンの西川づくり・人づくりを期待する。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	西川町教育ローン「帰ってきてけローン」返済補助金	所管課・係	まなぶ課 学校教育係
施策体系 〔第2次西川町教育振興基本計画〕	2 社会の持続的な発展に進んで取り組む力を育成します。 (7)町内外のひと繋がり、新たな価値を創造する人材の育成 ②高校・大学就学支援を契機とした青年層との繋がり深化とふるさと志向の醸成	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育振興費

2 事業の概要

事業目的	利子・元金返済補助制度の対象となる町独自の教育ローン「帰ってきてけローン」を活用してもらい、大学等の高等教育を終えた若者のふるさと回帰志向を醸成し、卒業後の町内居住を促進する。
事業内容	西川町教育ローン「帰ってきてけローン」は、大学・専門学校等に在籍している子どもを持つ西川町民が利用できる教育ローンで4つの金融機関で取り扱われており、大学の合格が決まった時から借りることができる。「帰ってきてけローン」に申し込んだ保護者は町の「帰ってきてけローン」返済補助金へ登録することより、在学期間中の利息と卒業後は西川町に居住することを条件に元金と利息が補助される。卒業後、10年間居住することにより、利息と借り入れた元金の全額が補助される。

3 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3	補正額等	1	合計	4	決算額	4
備考	帰ってきてけローン返済補助基金利子						

4 事業の実施状況

- 登録者数 20名(令和5年度登録 10名、令和6年度登録 10名)
- 借入総額 76,350,000円
- 令和6年度補助金支給額 0円(令和7年5月に補助金が支給される予定)
- 帰ってきてけローン返済補助基金残額 6,703,626円

5 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか	☒ 適切に対応している ☐ 概ね対応できている ☐ ほとんど対応できていない	大学生等の子どもを持つ保護者の経済的負担を軽減させることができるため、適切に対応している。
効率性 投入した経費に見合った効果が得られているか (費用対効果は適正か)	☒ 十分に効果が得られている ☐ ある程度の効果が得られている ☐ 効果があまり得られていない	令和6年度は投入した経費はなかったが、今後を考えると十分に効果が得られるといえる。
有効性 期待された成果は得られたか	☐ 期待した成果が得られている ☒ 概ね期待した成果が得られている ☐ 期待した成果があまり得られていない	成果測定は、大学等を卒業後の令和7年度からとなる。申込み状況に照らせば、今後の効果が期待できる。

6 教育事務評価委員の意見

・「帰ってきてけローン」は、地域の子育て支援策として有効な手段かつ、地域全体の学力向上や人材育成につながり、卒業後、町内へ移住になれば、地域の活性化にもつながるとも重要な事業に思われる。新しい事業はとても大変なことだと思うが、経済的な負担で進学を諦める事がないよう、周知に努めていただきたい。

・保護者の経済的負担の軽減のために大切な事業であると思う。本事業の詳細を知らない方もいると思われるので、周知活動を進めていただきたい。

・大学・専門学校卒業後は町外県外への就職傾向が多い中ではUターン率を高める取り組みで今後も継続的に続けて欲しい。

7 今後の対応等

方 向 性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小 ☐ 見直し ☐ 休廃止
今後の対応	「帰ってきてけローン」は令和5年6月から実施した事業で、令和6年度は丸1年間、在学期間中の利息を支払った初めての年となる。利息の補助は令和7年度に始めて支給することになる新たな事業であり、今後は周知活動も行い、令和9年度には登録者30名を目指し継続していく。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	ブナの森自然学校事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系 〔第2次西川町教育振興基本計画〕	1 夢と志を持ち、自らの可能性に挑戦し続ける力の育成 (2) 西川町の特性を生かす体験学習の充実による、ふるさとを愛する心の育成 ① 西川町の一番の魅力である豊かな自然を体感する学習や、西川町全域の人・文化等実際に触れふるさとを理解する学習の継続的充実	予算科目	10 教育費 2 小学校 2 教育振興費

2 事業の概要

事業目的	西川町教育目標「ふるさとを愛し高い志をもち、ぶなのようにたくましくともに学ぶ子ども育成」の具現化のために、小学校5年生を対象に豊かな自然の中で、自然体験活動をととして「郷土を愛し、たくましい心身の育成」を目指す。
事業内容	弓張平オートキャンプ場を拠点とした2泊3日 豊かな自然をフィールドに、エコプロ・月山朝日ガイド協会・地域おこし協力隊など多くの方とのふれあい 月山フラワートレッキング体験、六十里越街道・ブナの森トレッキングの選択活動 子ども達の「やりたい」が叶う学校企画活動のサポート

3 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	205	補正額等	0	合計	205	決算額	176
備考							

4 事業の実施状況

■ 月山フラワートレッキングで高山植物について学んだり、雪渓を歩く困難さを体験したりながら月山の自然の素晴らしさを学んだ。 ■ 自然散策やテント設営、炊飯などの野外活動を通して、自然を愛する多くの方々とふれあうと共に、仲間と協力することを学んだ。 ■ 六十里越街道、ブナの森探検から、自分が興味のあるコースを選択し体験することで地域の方よりふるさとの良さを学んだ。 ■ ナイトウォークや星空観察など、子ども達自身で企画立案し、大自然を満喫することができた。
--

5 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか	☒ 適切に対応している ☐ 概ね対応できている ☐ ほとんど対応できていない	西川の豊かな自然の中で、子どもたちが活動する様子をHPにもアップし、町民にの方向に見ていただくことができた。移住対策や関係人口の創出に関するお知らせにも、本活動を公開することができた。
効率性 投入した経費に見合った効果が得られているか (費用対効果は適正か)	☒ 十分に効果が得られている ☐ ある程度の効果が得られている ☐ 効果があまり得られていない	テント泊や炊飯などの野外活動費を活用し、豊かな体験ができた。専門性の高いガイド等を活用し質の高い学びができた。協力隊の参加協力もあり、教員の負担軽減となっている。
有効性 期待された成果は得られたか	☒ 期待した成果が得られている ☐ 概ね期待した成果が得られている ☐ 期待した成果があまり得られていない	雨が降ったため選択活動のカヌーは中止とした。雨プランもしっかり準備し、充実した活動ができた。雪が少ない年だったのでアイゼンは不要だったが、その時の状況で、用具の確認が必要。

6 教育事務評価委員の意見

・西川町の豊かな自然の中、専門性の高いガイドによる質の高い学びや地域おこし協力隊との触れ合いがあり、普段、当たり前だと思っていることが覆される野外活動。そこから子ども達が見た「達成感」や「仲間との協力」そのような活動が少なくなっている現代にも関わらず、2泊3日と充実しており、ふるさとを知り、ふるさとを愛する心を育てる機会になっていると思われる。本事業の取り組みは高く評価でき、地域が丸ごと子ども達を大切にしていると感心した。

・地域おこし協力隊の本事業への参加は画期的だと感じた。今後も本事業の継続と更なる充実をお願いしたい。

・近年は様々な要因で簡素化傾向にある中で、2泊にこだわった事業として子供たちが自然体験を通じて郷土愛と友情を育む大事な取り組みだと感じる。西川町のフィールドワークを活かし今後も続けて欲しい。

7 今後の対応等

方 向 性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小 ☐ 見直し ☐ 休廃止
今後の対応	子どもたちにとって、西川町の自然の中で活動することは、郷土愛を育む上で大事であり今後も継続を考えている。また、ガイド等をお願いすることで質の高い学びができることが期待できるので継続したい。子どもたちがたくさんの地域の方や地域おこし協力隊の方々とふれ合う機会をつくり、地域の魅力を発信することにもつなげていきたい。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	カヌー・スキー教室事業	所管課・係	まなぶ課 スポーツ振興係
施策体系 〔第2次西川町教育 振興基本計画〕	1 夢と志を持ち、自らの可能性に挑戦し続ける力を育成します。 (5)子どもたちの実態に対応し、西川町の特性を生かす視点に 立った健やかな体の育成 1 町の特性を活かし良さを体感する体育の充実	予算 科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 4 社会体育総務費

2 事業の概要

事業目的	自然の中で行うアウトドアスポーツを通して、子供たちが西川町の自然の魅力と豊かさを知る機会を創出する。また、子どもたちがカヌー・スキーに触れる環境を充実させ、その良さを体感してもらうことで、生涯スポーツの選択拡大を図る。
事業内容	カヌー・スキー教室の教育課程へ位置づけるとともに、生涯スポーツとして町や有志の支援による積極的な取り組みを継続している。

3 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	25	補正額等	0	合計	25	決算額	15
備考							

4 事業の実施状況

■教育課程でのカヌー教室 小学校各学年1日 ■教育課程でのスキー教室 小学校各学年2日(うち1日は町民スキー大会) ■教育委員会・カヌー協会主催カヌー教室 開催日:4日 ■スキークラブ主催スキー講習会 開催日数:5日

5 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか	☐ 適切に対応している ☒ 概ね対応できている ☐ ほとんど対応できていない	通常の教育課程では体験できない西川町ならではのスポーツを実施できる貴重な機会となっている。
効率性	投入した経費に見合った効果が得られているか(費用対効果は適正か)	☒ 十分に効果が得られている ☐ ある程度の効果が得られている ☐ 効果があまり得られていない	指導者や保護者の理解・協力のもと、最小限の費用で実施できている。
有効性	期待された成果は得られたか	☐ 期待した成果が得られている ☒ 概ね期待した成果が得られている ☐ 期待した成果があまり得られていない	この教室がきっかけとなり、競技スポーツに取り組む子どもたちを確保できている。

6 教育事務評価委員の意見

・西川町の自然の魅力と豊かさ、スキーやカヌーができる環境、子ども達の体力向上や自然を愛する心を育む機会を大切にしていきたい。継続していくには、これまで以上に保護者は教室の意義を理解し、子どもが安全に学べるようにサポートする。指導者は、技術の指導だけではなく、安全管理とスキー、カヌーの楽しさを伝えることが必要になってくるのではないかと。また、地域社会全体で教室を支える環境作りにも積極的に取り組んでもらいたい。

・西川町のかつてのキャッチフレーズ「雪と緑と太陽の町」を思い出した。カヌー・スキーの重要性を私も再認識しているところだが、今後も事業を継続していきたい。

・西川町だからこそできるアウトドアスポーツなので継続してほしい。とりわけカヌーについては月山湖に新施設もオープンし今までよりも良い環境なのでホビーなども活用しながら幅広い楽しみ方も体験できると思う。スキーについても道具を揃えるハードルは高いが、卒業に伴う不要な道具を再利用する仕組みなどもあれば良いとも感じる。雪が少なく間沢スキー場が使えない年もあったが、湯殿山や朝日自然観に切替えるなどの工夫も検討してほしい。

7 今後の対応等

方 向 性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小 ☐ 見直し ☐ 休廃止
今後の対応	カヌー教室については、持続可能な形での運営を検討しながら継続して実施していきたい。また、スキー教室については、スキーができる環境が続く限り、学校とも実施方法を調整のうえ継続する。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	総合型地域スポーツクラブ事業(スポーツサポート西川)	所管課・係	まなぶ課 スポーツ振興係
施策体系 〔第2次西川町教育振興基本計画〕	4 町民にウェルビーイング(健康で幸福な状態・良好で満足のいく状態)をもたらす生涯学習・スポーツの好循環に向け環境を整えます。 (14) 健康の維持とコミュニティの活性化につながる持続可能な生涯スポーツ環境の整備 1 町民による主体的健康づくりの推進	予算科目	2 総務費 1 総務管理費 5 企画費

2 事業の概要

事業目的	子どもから高齢者まで幅広い世代の人がスポーツを楽しめる環境を提供し、体力向上や生活習慣病の予防など、地域住民の健康水準の向上と元気で明るいまちづくりに寄与する。
事業内容	総合型地域スポーツクラブ(スポーツサポート西川)は、地域住民が主体となって運営している。町民の多様なニーズに合わせたスポーツ教室を提供し、町内でスポーツに親しむことができる環境を整備している。

3 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,000	補正額等	0	合計	1,000	決算額	1,000
備考							

4 事業の実施状況

■運営スタッフ・会員数 【運営委員】:6人 【クラブマネージャー】:1人 【会員数】:139人 ■教室内容 【開催教室】:軽スポーツ(卓球・パドミントン・バスケ)、かけっこ、ヨガ、けん玉、英会話、ジャズダンス 【開催日数】:延べ241日 【参加者数】:延べ2,234人 ■運営委員会の開催(毎月1回) 各教室の状況確認・新規教室の検討・イベント開催の検討等 ■その他 eスポーツ大会やボウリング大会、パドミントン大会など子どもから年配の方まで楽しめるイベントを開催

5 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか	☐ 適切に対応している ☒ 概ね対応できている ☐ ほとんど対応できていない	会員への聞き取りや、運営委員会で議論を重ねながらニーズに合った教室を提供できるよう努力している。
効率性 投入した経費に見合った効果が得られているか(費用対効果は適正か)	☒ 十分に効果が得られている ☐ ある程度の効果が得られている ☐ 効果があまり得られていない	教室は、延べ241日、2234人の会員が参加しており、1年間を通して定期的なスポーツ活動の場を提供することができている。
有効性 期待された成果は得られたか	☐ 期待した成果が得られている ☒ 概ね期待した成果が得られている ☐ 期待した成果があまり得られていない	会員のニーズを取り入れた教室運営を行っているため、満足度の高い教室を運営できている。

6 教育事務評価委員の意見

・地域の人々の年齢、趣味・関心、技術・技能レベル等に応じた様々なスポーツ機会を提供すると言う事は、西川町の人口規模や少子高齢化等を考えるとなかなか難しいのではないかとされる。しかし、少人数の運営スタッフで100人以上の会員と6種の教室を運営できている点については、素晴らしいことだ。継続と同時に、現状分析し、具体的な改善策を検討していただき、より魅力的な運営を目指してもらいたい。

・開催日数や参加者数の多さに驚かされた。運営委員やマネージャーのご努力に敬意を表するとともに、今後も継続できるよう、引き続き教育委員会の支援をお願いしたい。

・運営委員の負担も考えると、スポッ的に外部講師・指導者を招き入れて新たな企画を考えるのも良いかと思う。また色んな競技大会では今まで通りの表彰に加えて副賞(地域通貨や商品など)を設定することで参加意欲を醸成できるかとも思う。また、近年の猛暑を考えれば町民体育館内の冷房設備の導入も検討してほしい。

7 今後の対応等

方 向 性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小 ☐ 見直し ☐ 休廃止
今後の対応	総合型地域スポーツクラブは、地域における「スポーツの拠点」として、また「地域コミュニティの核」として、重要な役割を担っている。しかしながら、クラブの運営を担う運営委員が同じ顔ぶれであることで、新しいアイデアや視点が入りにくくなっている。新規会員を獲得するためには、時代の変化や地域のニーズに合わせたクラブ運営が必要であり、新たな運営委員の確保に努めていきたい。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	西川町文化祭	所管課・係	まなぶ課 生涯学習係
施策体系 〔第2次西川町教育 振興基本計画〕	4 町民にウェルビーイング(健康で幸福な状態・良好で満足 of いく状態)を もたらす生涯学習・スポーツの好循環に向け環境を整えます。 (15) 多様な文化・伝統の継承と発展 ①芸術文化団体の支援と、町民ニーズに応える新たな芸術文化活動の伴 走支援	予算 科目	款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 5 企画費

2 事業の概要

事業目的	町の総合的な芸術文化活動の展示・発表の機会を創出することで、芸術文化の振興を図るとともに、心豊かな文化の香り高い町づくりを推進する。
事業内容	11月3日の文化の日を中心に3日間程度、西川交流センターあいべを会場に開催している。内容は、①作品展示(書道、絵画、写真、俳句、彫刻、絵手紙、プラモデル、児童生徒作品等)、②華道展、③茶会、④ステージ発表の4部門から構成されている。

3 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	868	補正額等	0	合計	868	決算額	520
備考							

4 事業の実施状況

■期 間	令和6年11月2日(土)～4日(月・祝) ※ステージ発表は11月3日のみ
■会 場	西川交流センターあいべ
■作品展示数	684点
■ステージ発表数	19団体
■入 場 者 数	929人

5 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか	☒ 適切に対応している ☐ 概ね対応できている ☐ ほとんど対応できていない	とりわけステージ発表において、従来の方式にとどまらず、小学生と一般団体とのコラボレーションが生まれ、相乗効果が現れていること等から、適切に対応できている。
効率性	投入した経費に見合った効果が得られているか (費用対効果は適正か)	☒ 十分に効果が得られている ☐ ある程度の効果が得られている ☐ 効果があまり得られていない	芸術文化活動を行っている人だけではなく、その他一般の方々も数多く入場し、作品や発表に触れる機会が与えられていることを考えると、十分に効果が得られると言える。
有効性	期待された成果は得られたか	☐ 期待した成果が得られている ☒ 概ね期待した成果が得られている ☐ 期待した成果があまり得られていない	町民のニーズを満たし、新たな連携も生まれ、町民に幅広く触れる機会を創出できていることから、概ね期待した効果が得られていると言える。

6 教育事務評価委員の意見

・大人も子どもも作品制作やステージ発表のための練習に取り組み、文化祭を楽しみにしている様子がわかる。そして、文化祭に訪れる住民同士の交流や子ども達の活躍を見に訪れる高齢者、世代を超えた交流が文化祭には生まれている。小学生と一般団体とのコラボレーションなど、変化も見られる。この変化や流れが、町民だけでなく、町外や観光に訪れた人にも興味を湧く情報として発信していただきたい。

・町の伝統行事でもある文化祭がますます盛り上がっていくことを願う。作品展示などへの参加者が増えていくように取り組みを進めていただきたい。

・長い歴史ある文化祭だと思うので、できる限り続けて欲しい。ステージ発表では小学生の発表だと保護者も同伴し大変盛り上がるだが、子供たちの負担も考慮すればなるべく早い発表なども考えるべきかと思う。

7 今後の対応等

方 向 性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小 ☐ 見直し ☐ 休廃止
今後の対応	今後も個人、団体それぞれのニーズ把握に努め、改善に繋げていく。加えて、町芸術文化協議会の主体性を強化するとともに、個人や団体同士の連携を促進すること等を通して、新たな展開の創出を目指し、継続していく。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	西川町高校生ソーシャルイノベーションコンテスト	所管課・係	まなぶ課 生涯学習係
施策体系 〔第2次西川町教育振興基本計画〕	4 町民にウェルビーイング(健康で幸福な状態・良好で満足のいく状態)をもたらす生涯学習・スポーツの好循環に向け環境を整えます。 (13)生涯を通して学ぶ喜びとコミュニティの持続発展につながる生涯学習環境の整備 ②町の担い手となる青少年育成の取り組みの充実	予算科目	2 総務費 1 総務管理費 5 企画費

2 事業の概要

事業目的	西川町には高校がないことから、必然的に高校生は町外へ出て行ってしまうため、町とのつながりが希薄になっている。町の魅力や課題を深掘し、地域活性化のアイデアを競い合うことで、高校生と町、町民とのつながりが強化されることに加えて、地域の未来を担う若者たちの地元愛も深まることで、定着につながることを目的とする。
事業内容	高校生を対象としたビジネスコンテスト。 生徒グループが提案した町内の課題解決案のうち、最も優れた提案に対して、商工会等の関係団体等と連携して、事業化に向けた伴走支援も行う。

3 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,529	補正額等	0	合計	1,529	決算額	1,529
備考	事業実施委託先:公益社団法人ジュニアアチーブメントジャパン						

4 事業の実施状況

- 参加者数 4チーム15名
- 開催日 令和6年11月23日
- 最優秀賞受賞チームへの東京招待(3月27日～28日)
- 各チームにエヌエヌ生命からメンター派遣(4名)
- 審査員:西川町長、町商工会長、地域活性化起業人

5 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか	☒ 適切に対応している ☐ 概ね対応できている ☐ ほとんど対応できていない	これまで希薄であった高校生とのつながりを創出するとともに、地域と関わりたいと考えている高校生たちが、町について真剣に考える場を提供できたため、適切に対応している。
効率性	投入した経費に見合った効果が得られているか (費用対効果は適正か)	☒ 十分に効果が得られている ☐ ある程度の効果が得られている ☐ 効果があまり得られていない	4チーム15名の高校生が集まり、参加者個人に町の情報を発信する手段が確立され、将来にわたる町とのつながりが創出できたことを考えると、十分に効果が得られたと言える。
有効性	期待された成果は得られたか	☐ 期待した成果が得られている ☒ 概ね期待した成果が得られている ☐ 期待した成果があまり得られていない	地域と関わりたいと考えている高校生たちに、町について真剣に考える場が提供できたことに加え、将来にわたる町とのつながりを創出できたこと等から、概ね期待した効果が得られていると言える。

6 教育事務評価委員の意見

・町とのつながりが気薄になっているけれど、町の事を考える機会があれば、町の事・地域を良くしたいという気持ちがある、若いパワーに感心した。地域のリアルな課題に若者のアイディアで挑戦し、社会で活躍するために必要なスキルが身に付けば、高校生にも町にも大きな強みになると思われる。事業内容に「事業化に向けた伴走支援も行う」とあり、今後の展開に期待する。

・昨年度からの事業と知った。今後も継続するとともに、子ども達の提案が実現するような取り組みになっていけば素晴らしいことだと思う。

・昨年最優秀賞はタブレット(つながるくん)に、買い物代行から商品の配送まで申し込みできるサイトを構築する内容で、高齢化社会での大きな課題で大変良い企画と感じる。ただこの事業は企画を事業化まで伴走支援も掲げているので、伴走支援の取り組みも検討してその後の活動も必要かと思う。

7 今後の対応等

方 向 性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 縮小 ☐ 見直し ☐ 休廃止
今後の対応	令和7年度も継続開催とする。加えて、新規の取り組みとして、町内で起業した方を講師に招いてセミナーを開催する等し、若者の町内企業への就業促進につなげる。

教育事務評価委員の意見（総括）

- ・地域の子どものより良い教育環境を整えるためのご尽力に感謝する。町民アンケート等で「学校教育の充実」が最も高い満足度と言うことも素晴らしい。生涯学習・スポーツ関連施策についても、幅広い世代のニーズに対応されている事が伺えた。町民により関心を持ってもらうための情報発信や活動を継続して行っていただきたい。これからも、教育大綱で示す、基本理念の現実に向け、より一層の取り組みに期待する。
- ・西川町の豊かな自然環境等を生かした豊かな体験活動は、子ども達のふるさとを愛する心の育成にとって非常に重要であると感じている。様々な課題もあろうかと思うが、事業の継続と更なる充実を期待する。
- ・今回の点検・評価につきまして、概ね継続し取り組むことは大事と感じる。また、工夫する余地のある事業もあるようなので、色んな意見も取り入れながら更に意義の高まる取り組みにしてほしい。とりわけ、少子化が進む中では子供たちが次世代を創る大切な宝ですので地域愛を醸成できる取り組みを望む。